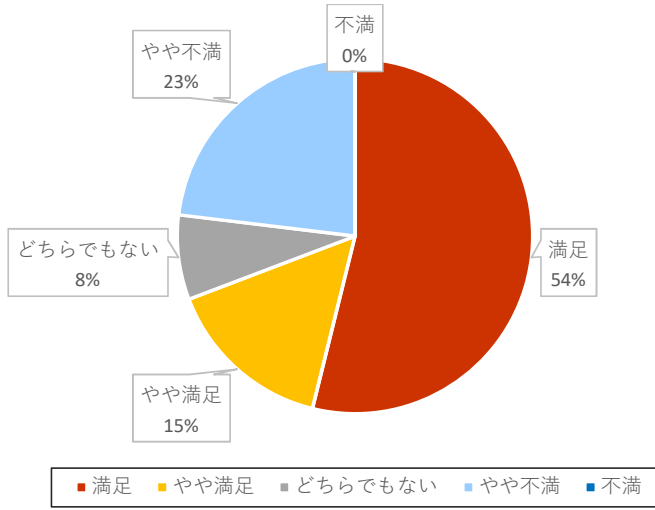


# さとことブレスト参加者アンケート（第1回）

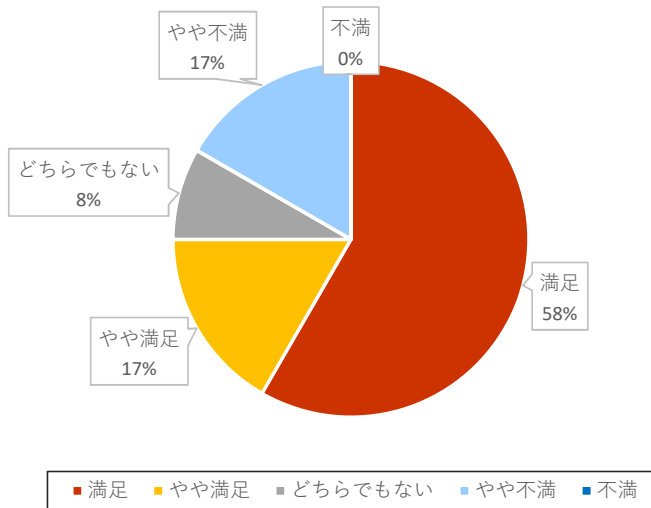
Q1. 今回の【さとことブレスト】で、どの程度満足いただけましたでしょうか。 n= 13



Q2.以下の点に関して、それぞれお答えください。

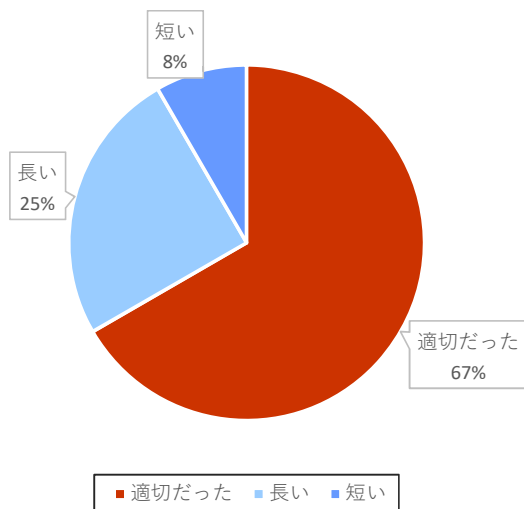
①テーマ

n= 12



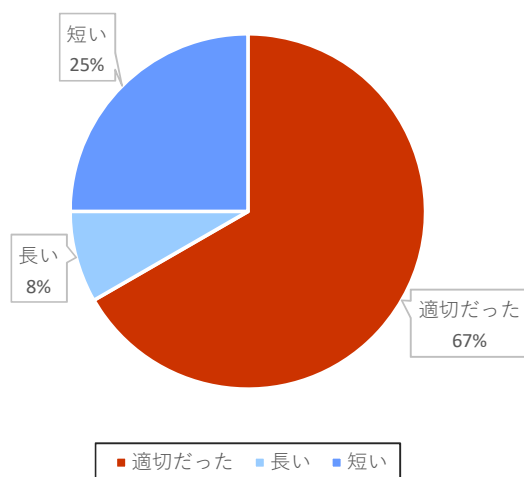
②全体の時間

n= 12



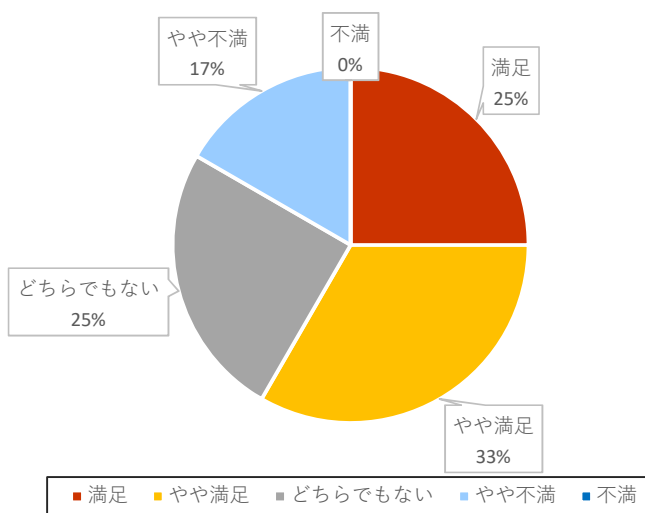
③プレストの時間

n= 12



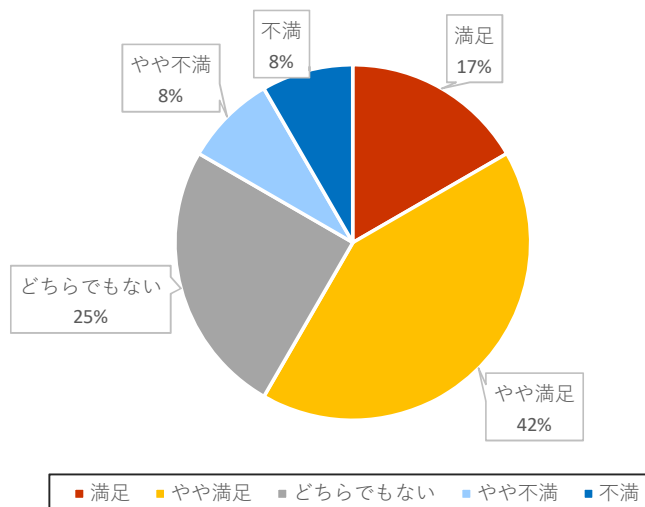
④進行のスムーズさ

n= 12



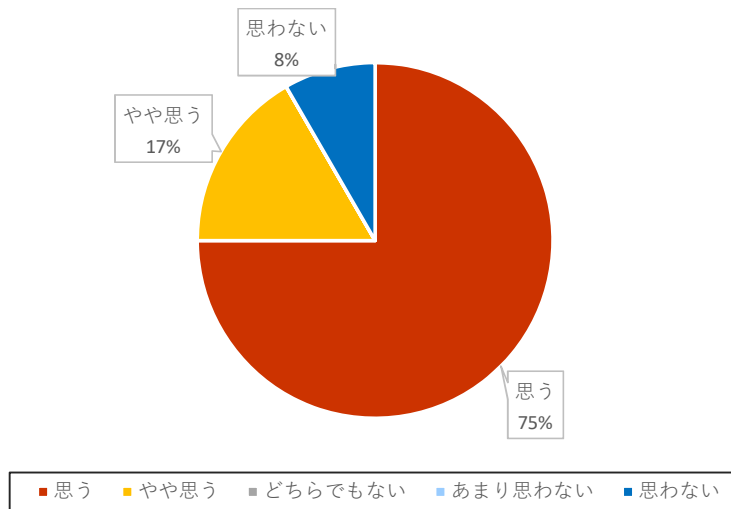
⑤ファシリテーターやスタッフの対応

n= 12



Q3. また参加したいと思いますか？

n= 12



#### ○自由意見

もう少し、具体的な案や話がきけるのかなと、思ったのですが、いまいちピンとこない話が、多かったような。個人的には、今の現状維持で、これ以上、望まない住宅や店舗の立ち退きは、していただきたくないです。

すでに、立ち退きが進んだ跡地には、防災関係の設備や、ベンチが少ない意見もあったので、普段はベンチで、有事の際には、トイレに代わるベンチなどは、いかがでしょうか。また、無電柱化を、是非、優先的に進めて頂きたいと思います。

道路拡張の前に、無電柱化を実施したら、歩道も広くなり、イロイロなアイデアや違う景色が、見えてくるのでは、ないでしょうか。それにしても、参加された皆様の『西荻愛』は、素晴らしい♪

お疲れ様でした。

お忙しい中、今回のような機会を設けていただきありがとうございます。

私自身は30代ですが、今回の参加者は40～70代のが多かったので、今後のまちづくりにおいては色々な世代の方の意見を聞いていただければと思います。

なお、一点今後に向けてのお願いです。

当日の進行にもよるのかもしれませんが、全体を通して、一部の方が喋り続けるような場面が散見されました。

対話形式やディスカッションは自分の意見だけではなく、色々な方の意見を聞き、より良い案をみんなで作り上げていくという所に意義があると思っています。

自分の意見を主張すること、区に伝えることは、文書でもできるので、参加者の方には傾聴の意識を持って参加していただきたいなと思いました。

今後もファシリテーターの方を置かれるようであれば、ただ自由に参加者に話をさせるのではなく、是非参加者全員の意見を聞き出す仕切りをお願いします。

(当日も区長が気にされてるように見受けられました。)

今後とも宜しくお願いいたします。

開催に向けご尽力頂きありがとうございます。

参加者同士の意見交換は今まで通り有意義かと思いますが、そこに区長殿がいらっしゃる必要性はoirないかと思ひます。場違ひ感がすごかったです。

いつもより時間が長め？だったので、言ひたいことが言えた印象。それを区長がちゃんと聞いているという安心感。

都市計画道路のことについて、整備を前提にした「啓蒙」ではなく、自由な意見交換ができた。

ただし、コンサルタント（記録係）のふせんが内容不明、意図不明瞭だった。

記録係は高校生、大学生がやったほうがお互い丁寧なやりとりになるのではないか。コンサルの質の低さが唯一と言ひていい問題でした。

道路幅幅をテーマに、となっておりましたが「幅幅計画を白紙に」という意見があちこちから出ていて、自由に意見をといえば当然考えられるとはいえ、調整はどのようにされるか結果に注目しています。

計画全中止、コース変更の案は常にあるので、具体的な対応（不可である理由等）を希望します。

懇談会を経験した人もいて、何回、何年を経ても意見は変わらないことを実感。これを同じく繰り返しても前進できるか不安でした。

今の時点で50年先を想像しながら考えるには想像力が必要で未来への責任の大きさを思うと参加者の意見を記録・公開（内容だけ）にしてほしいと考へます。

様々な意見を聴くことも大事で、議論を深めるためにさらに視点を広げるなど、区民も想像力を駆使する努力をしたほうがよいと思ひます。

・今回は道路問題が中心でしたが、まちづくり懇談会も間隔をおかずに開催し、早急に西荻窪の街の方向づけを決定したい。

・西荻窪のメディアでの取り上げられ方が飲食店中心でビジターも多いが、あらためて杉並全体の良さ、歴史を知ってもらうための観光需要を拡大させるべく、意見交換を行いたい。

・西荻窪の南北交流をぜひ活性化させたい。

・従来からの商店街区分はもはや時代遅れで動きづらい。線から面へ、再構築が必要。

・火災対策としての毛布の配布の話は興味深く思ひました。

・トラムの話は用地確保など非現実的ですが、電気自動車等による公共交通網は充実させたいですね。

道路幅拡張問題より西荻窪駅前&周辺問題の方が喫緊の課題ではないでしょうか？

中央線沿線中で最もプアで危険な駅です。立体的な再開発を希望します。

駅前の通行量ですが、通勤時間帯を過ぎればバス、車、歩行者共に途絶えて一気にゴーストタウンと化します。

限りある財源を有効に活用して高齢者や弱者に優しい町にしてほしいです。

賛成反対に関わらず、今回のような会は継続していくべきである。

駅南側のクランクは計画を見直すべきである。将来の世代のためにも、真っ直ぐに通すのが良い。

気になったこと

- ・「杉並建築会」との関係が資料にもなく、いまひとつよくわからなかった

よかったこと

- ・"結論ありき"でなく話し合う、このような細かい会合を続けてさまざまな意見を吸い上げるのは、手間はかかるけれど、よいことだと思います。

考えたこと

- ・"西荻窪"という地域を考える時、今回のような「居住者の視点」だけでなく、(他地域からの)「訪問者の視点」も聞いてみたらいかがでしょうか。

また、いろんな世代の意見、ということから、将来を担う子どもたちの意見も聞いてみる価値はあると思います

- ・本格的に取り組む前に、「とりあえずできること」をやってみる、そこから修正して行く、そんな方法もあるのではないのでしょうか

区長さん、応援してます

区長自ら参加されている点（しかも駅から会場まで歩く事前企画にまで）、区民の声を聴こうとしている姿勢が鮮明で、大変嬉しく頼もしく思いました。

（期待通り？）模型まで用意してくださった点も素晴らしいと思います。

ブレストに慣れていない自分はディスカッションでの発言も控えめでしたが、学びは多かったです。

専門家ではない自分も勉強したいしこういった話題を隣人やママ友とも話せるようになりたい。

車中心から人（歩き）中心の街を望む自分は道路拡幅に疑問を持っています。

計画はもっと大きな、都の都市計画できまっているもの、もっと大きな観点からの計画や意図がある、とすると、それについての情報を理解した上での代案なり別ビジョンにしないとならない。

オープンハウスなどはやっていましたが…。子どもたちの参加を、という意見が出ていました。

区の職員さんには、小学生に道路拡幅の説明をするつもりでそういった基礎資料を準備してほしいです。

ともあれ、これまでのような、道路のことは街づくりとは別、ここでは話さない、というような制約なく、今回の会が持たれたことはとても大きな前進です。

準備に尽力下さったスタッフの皆さま、ありがとうございました！

ブレストでもお伝えしましたが、区民から意見を聞く何らかの機会を作って頂いた後は、区長が決断しビジョンを示すことで良いと思います。

結果、区民が満足しなければ次の選挙で票を取れず、杉並から人が離れていく事もあるかもしれないませんが、逆に区長のビジョンに賛同し新たに杉並に来てくれる人もいますはず。

建築士会の方々の協力はありがたいことですが、今回のような都市計画やUDを専門とするのは、土木分野です。

杉並区公共施設（西荻地域区民センター、阿佐ヶ谷地域区民センター、セシオン杉並）の設計に於いて改めて感じたことです。

西荻の計画幅員16mの話をするのに、中核都市の目ぬき通りや首都丸の内の話を出しても意味がありません。

いくらブレインストーミングと言っても、同じような環境での事例を出すべきですね。

参加者から不満が漏れるのは当然です。法令は違っても、海外事例をひっぱり出すくらいでないといけないのでは。

DX、カーボンニュートラル、UDなど最近の課題は、今の縦割り行政では解決が困難です。

公共施設一つとっても、営繕課は作るだけでその後の運営には一切関わらない。だけでなく、関われない。これは大きな弊害です。

新しい阿佐ヶ谷地域区民センターのトイレ周りの壁のみすぼらしさは、情けないものがあります。

個々の職員は熱心に働いているにもかかわらず。

セシオン杉並も体制に欠陥があるため、阿佐ヶ谷の二の舞になる可能性が高いです。

こちらも、職員は必死に働いています。

このような問題に真剣に向き合うなら、住民の意見を聞くだけでなく、組織のあり方を考えないと優秀な行政マンが育たないと感じています。

杉並区職員は、皆さん優秀ですし、やる気もあります。

区長が頑張って、住民の声を活かせる環境を作りだしても、旧態依然の組織であればその声を具現化できないと思います。

勝手なことを書きました。

職員の皆さんもこれまで通り頑張ってください。